



令和4年度
八代市立植柳小学校 学校だより

いずかし

令和4年7月20日
植柳小学校長 大住和行



地域とともにある学校づくり ～植柳小学校コミュニティ・スクール～

「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)という言葉が聞かれたことがございますか。

「コミュニティ・スクール」は、地域住民と学校が力を合わせて学校運営に取り組むための制度です。学校の運営に地域の声を生かす、また、学校の課題等の解決のために地域の力を生かす。こうすることで、学校と地域が一体となった特色ある学校づくりを進めることが目的です。

今年度も、本校の子供たちがお世話になっています地域の方々、PTAの代表の方々、そして学校職員を、教育委員会から学校運営協議会の委員に任命していただき、先日第1回目の協議会を開催しました。

会長 森山 雅彰 (区長会代表)
副会長 松浦 幹夫 (栽柳園保存期成会長)
片山 一郎 (安全協会代表)
関 優子 (支援活動代表)
委員 西田 和敏 (安全協会植柳支部)
野崎 陽子 (盆踊保存会代表)
松下 美香 (植柳校区コーディネーター)
田北由加里 (主任児童委員)
江口 正 (PTA会長)
佐々木晴崇 (PTA副会長)
奥野 正貴 (PTA副会長)
大住 和行 (校長)
藤井 堅一 (教頭)

※地域で実施された親子清掃活動、児童の登校中のあいさつ、トイレのスリッパ並べ等について意見をいただきました。

今年度初めての 授業参観を 行いました



7月7日(木)に、今年度初めての授業参観を行いました。当初は、1時間の授業参観の後、学級懇談を予定していましたが、八代地域における感染症の拡大状況から、3密「密閉・密集・密接」を避けるために懇談会を取り止め、参観していただく授業を2～3時間に拡大しました。

久しぶりの授業参観とあって、教室や廊下に掲示されている子供たちの絵や習字などの作品から、おうちの方に、自分が頑張ったところを見てもらいたいという願いが伝わってくるようでした。

先生方が出される学級通信からも、1学期の約4か月の間で成長した子供たちの姿を見ていただきたいという思いが伝わりました。

子供の姿を見ていただくことの大切さをあらためて感じました。